

	東京大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	薬学部 (薬科学科 (4年制) : 72名、薬学科 (6年制) : 8名) 薬学系研究科 (M : 100名、D3 : 50名、D4 : 10名)
沿革・設置目的	<p>明治6年(1873年) 文部省布達により第一大学区医学校に設置された製薬学科の流れを汲み、東京大学医学部製薬学科、帝国大学医科大学薬学科、東京帝国大学医学部薬学科等を経て、昭和33年(1958年)に薬学に関する教育・研究を行うことを目的として、東京大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年(1949年) 新制東京大学設置と同時に医学部薬学科設置</p> <p>昭和28年(1953年) 大学院化学系研究科に薬学専門課程修士課程を設置</p> <p>昭和30年(1955年) 大学院化学系研究科に薬学専門課程博士課程を設置</p> <p>昭和33年(1958年) 東京大学薬学部を設置</p> <p>昭和40年(1965年) 大学院薬学系研究科を設置</p> <p>平成16年(2004年) 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年(2006年) 薬学部に薬学科(6年制)を設置、</p> <p>平成24年(2012年) 大学院薬学系研究科に薬学博士課程(4年制)を設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 学部では、創薬科学及び基礎生命科学の発展に寄与する研究者、医療行政に貢献する人材、高度医療を担う薬剤師を養成する。大学院では化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学など薬学がカバーすべき広範な分野をリードする優れた創薬科学研究者及び基礎生命科学研究者や、医療薬学、社会薬学、創薬学等の分野で臨床応用に向けた研究課題を追求する高度な専門性と優れた能力を有する先導的薬剤師等を養成する。</p> <p>○ 有機化学、物理化学、生物化学を機軸に、薬学のあらゆる分野における高い研究実績を活かし、世界トップを目指す最先端の研究を一層推進するとともに、創薬研究の大規模基盤を活用した研究の全国展開、多分野への展開等により、創薬・生命科学研究を発展させ、</p>

難治疾患・希少疾患の治療薬をはじめとする革新的医薬品の創出や医療システムの革新を牽引する。

- 優れた研究成果を早期に社会に還元できるよう、研究成果の特許出願、産学連携による共同研究や企業への支援、国際的な共同研究・交流、全国の薬剤師を対象にしたセミナーやオンラインコンテンツの提供等を積極的に推進することにより、国内外の薬学教育研究の向上に貢献する。